**C-tune II**

# データロギング

## はじめに

このクイックガイドでは、データロギングの基本について説明します。「データロギング」画面には「データロギング」ウィンドウがあります。この機能は選択した補聴器によって大きく違うため、このクイックガイドはそれぞれのデータロギングデータの表示方法に応じて 2 つのセクションに分けられています。

# Dinamico のデータロギング

Coselgi Dinamico 補聴器のデータロギングでは、一度に補聴器 1 つ分のデータを表示します。両耳フィッティングでは、ウィンドウ右上の R/L ボタンで補聴器の左右を切り替えます。

### 使用状況

「使用状況」タブは、左のナビゲーションバーの隣にあり、作業エリアの一番左上にあります。

補聴器の使用状況の詳細を確認できます。円グラフはプログラムごとの使用時間割合を示しており、「*データロギング有効化*」から C-tune が対象の情報を記録するかどうかを決めます。

### ボリューム設定使用

「音量コントロールの使用状況」タブは「使用状況」タブの隣にあります。

ロギング期間中に補聴器で各プログラムに対して行った音量調整を確認できます。「*最近のプログラム*」では、直近の補聴器使用時の音量変化を確認できます。

補聴器の各プログラムについて、音量コントロールが音量レベルの上下にどの程度使用されたかを確認できます。濃い色は使用頻度の高かった設定を、薄い色は使用頻度の低い音量コントロール設定を示しています。

**環境分類**

「環境分類」タブは、「音量コントロールの使用状況」タブの隣にあります。

このタブには、それぞれのプログラムを使用する音環境分類を示しています。環境は分類されて、関連するプログラムでの合計使用状況に対する割合で表示されます。

補聴器で定義した各プログラムに関する列の他に、補聴器が使用された音環境分類を総合的に示した列もあります。

# Unia/Effect/Mojo のデータロギング

Coselgi Unia、Effect、Mojo のデータロギングでは、両耳フィッティングの場合、両耳のデータが同時に表示されます。表示方法は 4 種類あり、画面内のタブを切り替えて、データロギング対象の記録期間を確認できます。

**記録概要**

データロギング画面の最初に表示されるのが「*記録概要*」です。記録期間中の補聴器の使用について一般的な情報が示されます。このタブには次のものが表示されます。

- 記録期間
- ユーザーによる補聴器の 1 日あたりの平均使用時間および前回記録時の 1 日あたりの平均使用時間
- プログラムボタンと音量コントロールの使用量、1 日あたりの補聴器電源操作回数
- 会話のある環境とない環境での補聴器の使用時間

タブの下部では、フィッティングセッションや微調整セッションを終了したときにデータロギングを有効にするかを選択できます。

**プログラム使用状況**

補聴器のプログラム数およびそれぞれの使用量を確認できます。各プログラムについて、左右両方の補聴器での合計使用時間に対する割合を示しています。グラフ表示の下には、補聴器の全プログラムも一覧表示されています。補聴器に音量コントロールがある場合、いずれかのプログラムを選択して、そのプログラムでの音量コントロールの使用量を表示できます。

**環境分類**

補聴器が使用された音環境の記録が示されます。複数のプログラムが設定されている場合、ウィンドウ左のタブでプログラムを切り替えられます。各プログラム（マイク入力のみ）について、どの音環境が有効にされたか確認できます。いずれかの環境にマウスカーソルを合わせると、その環境が有効になった時間的な割合が表示されます。

環境グラフの下では、さまざまな環境での音量コントロールの使用時間を確認できます。このグラフ表示には、会話のある環境とない環境での音量コントロールの使用量も示しています。

補聴器で有効になった環境に基づいて、できるだけユーザーがプログラムボタンを使用しなくてもいいように、補聴器を調整したほうがいい場合があります。「環境」タブの下部では、テキストをクリックして直接「*音状況*」ウィンドウに移動できます。

**入力音レベル**

記録期間中の補聴器への入力音レベルの分布を示します。小さな音、通常の大きさの音、大きな音に対する時間的な割合を％で表示します。

画面下部に音量コントロールの使用状況が示されます。ユーザーが音量コントロールを上下に調節している場合、ここに示されます。できるだけユーザーが音量コントロールを使用しなくてもいいように、補聴器を調整したほうがいい場合があります。

# 詳細設定ログ

ユーザーがアプリで作成したパーソナルプログラムの詳細を表示します。設定を表示する前に、アプリでユーザーから同意を得る必要があります。さらに、C-tune の「詳細設定ログ」で「データロギング」にデータを表示する前に、クラウドベースサービスにログインして、ユーザーの補聴器に接続する必要があります。

「詳細設定ログ」ウィンドウの表示には、アプリで行った設定が反映されます。情報はユーザーと相談して、さらに微調整する目的に使用します。

パーソナルプログラムは補聴器に保存されず、ユーザーのアプリからのみアクセスできます。「詳細設定ログ」では、現在のパーソナルプログラムの設定や使用状況を表示できます。

新しいユーザーをフィッティングする場合は、必ずログインする必要があります。そうしないと、詳細設定ログデータの記録が開始しません。アプリからのデータは、ユーザーの補聴器がアプリに接続されるたびにクラウドに送信されます。

「詳細設定ログ」ウィンドウには、次の情報が表示されます。

**プログラムの概要**

ユーザーが作成したパーソナルプログラムがすべて表示されます。プログラムで選択した名前とアイコン、ベースのプログラム、1 週間あたりのプログラムの平均起動回数、プログラム作成時間を確認できます。詳細を確認するにはプログラムをクリックしてください。

**音量**

音量設定のステップは、設定コントロールのステップを表します。ステップ数は「補聴器の構成」の「ユーザーコントロール」設定に基づいており、3 ステップと 9 ステップから選択できます。3 ステップを選択すると、全体の範囲は 9 dB になります。9 ステップを選択すると、全体の範囲は 16 dB になります。

**イコライザー**

イコライザーは 3 つの周波数帯（低音、中音、高音）で上 6 ステップ、下 6 ステップで調節できます。中音と高音の処理範囲は -12 ～ +6 dB です。プラス方向の調整はステップあたり 1 dB で、マイナス方向の調整はステップあたり 2 dB となります。低音の処理範囲は -12 ～ +12 dB です。この処理での調整はすべてステップあたり 2 dB です。

**サウンドミキサー**

2 つの入力信号があるパーソナルプログラム（ MT、マイク付きの Zen、マイク付きの Zen+）の場合、ユーザーはサウンドミキサーで 2 つの信号のバランスを調整できます。

ユーザーが行った調整の効果は、フィッティングで使用する音響構成（レシーバーおよびイヤーチップ/イヤーモールド/ベント）によって異なることにご注意ください。

この文書は、電子データで供給されています。印刷版をご希望の場合は、http://widex.pro/gps-startup-guide で無償で入手できます。配送には 7 営業日ほどかかります。また、文書は http://widex.pro/gps-startup-guide からもダウンロードできます。

Copyright © Coselgi.無断複写・転載を禁じます。

文書バージョン：4.0。発行日：2020 年 11 月